

2022

2022年度活動報告書



みなと環境にやさしい事業者会議
minato eco-conscious consortium

ごあいさつ



港区長
武井 雅昭

みなと環境にやさしい事業者会議の皆様には、「スポーツGOMI拾い大会 in みなと」や「企業と環境展」など、事業者・区民・区の協働の場となる様々な活動に積極的に取り組んでいただいております。これまでの活動に対し、厚く御礼申し上げます。

昨年、区は「MINATO節電アクション」として、区民・事業者の皆様には節電・省エネへのご協力を呼びかけてまいりました。会員事業者の皆様におかれましても、積極的な節電・省エネ行動に取り組んでいただき、重ねて御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響で一時減少した区の人口は再び26万人を超えました。今後人口が増加しさらに経済活動が活発になると同時に、持続可能なまちの実現に向けて、2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを達成しなければなりません。

区では区有施設の電力を100パーセント再生可能エネルギーに転換する等、率先して温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。しかしながら、温室効果ガス排出実質ゼロを達成するためには、区民や事業者の協力が必要不可欠であり、地域と一体になって脱炭素化に取り組む必要があります。

会員事業者の皆様におかれましても、環境負荷の少ない社会経済活動への転換について、一層のご協力をお願いします。

今後も、会員事業者の皆様が環境問題解決に向けた取組を通じ、みなと環境にやさしい事業者会議の活動が益々発展されることを祈念いたします。



みなと環境にやさしい事業者会議
会長
港区副区長
野澤 靖弘

平成18年5月に設立されたみなと環境にやさしい事業者会議（mecc）は、日本の環境分野をリードする会員事業者の皆様とともに歩みを進めてまいりました。会員事業者の皆様には、事業者会議の運営に多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、経済産業省から電力需給ひっ迫注意報が発令されるなど、非常に厳しい電力需給が続き、多くの人々がこれまで以上に省エネについて意識したのではないのでしょうか。また、「スポーツGOMI拾い大会 in みなと」には120名を超える方々にご参加いただいた他、「企業と環境展」では、2019年以来3年ぶりに親子向けワークショップを実施し、多くの区民、事業者の参加があり、環境への意識の高まりを感じております。

昨年meccの新たな活動として「meccコンポスト」が始まりました。循環型社会のモデルケースとなる本取組ですが、企業間連携を推進する取組でもあります。

今後益々環境への意識が高まっていく中では、個別に環境に関する取組を行うだけでなく、会員事業者同士が密に連携し新たな取組を生み出すことが重要です。

今後も、みなと環境にやさしい事業者会議は、大切な地球環境を守り、次世代に引き継いでいくため、引き続き、様々な取組を展開していきたいと考えております。皆様の一層のご協力をお願いいたします。

設立趣旨

21世紀に入り、異常気象の多発、北極や南極の海氷の溶解、砂漠化の進行など地球温暖化の影響はますます深刻さを増しています。豊かな自然を守り、かけがえのない地球を次世代に引き継いでいくのは、わたしたちみんなの責務です。

利便さや快適さを求める大量生産、大量消費、大量破棄という社会スタイルを、市民、企業、行政をはじめとしたあらゆる個人、組織が、それぞれの立場で真剣に考え、環境にやさしいライフスタイルへと転換していく必要があります。

港区は、東京の中でも企業や各種団体の本部機能が集中しています。この特徴を生かして事業者と区民と区が連携し新しい協働の場を確立できれば、これまでない環境保全活動の取組みとして「みなとモデル」を全国に発信することができるでしょう。ひとつの地域での取組みが、世界を変えていくほどのうねりになる。「みなと」という地域に集うわたしたちのネットワークは、そんな大なる可能性を秘

めていることでしょう。そうした新しい連携を可能にする土台として「みなと環境にやさしい事業者会議」は平成18年5月に設立され、今年で18年目を迎えます。

「みなと」にかかわるすべてのパートナーシップの要として、生きた情報と知恵の受発信が行われる前線基地として、そして個々の事業者にとっては地域と地域環境への貢献を同時に推進できるひとつの拠り所として。業種も立場も異なるさまざまな事業者たちが同じ目線で出会える場に、環境に対する互いの意識を高めあえる場に、そしてアイデアが次々とカタチになっていく活気のある場になりたいと思います。

この趣旨にご賛同いただけるひとりでも多くの事業者の方に仲間に加わっていただければ幸いです。わたしたちが手をたずさえることで生まれる力が、地球環境問題を根本的な解決にむかわせる希望となることを期待して。

2022年度は新規会員事業者として6団体が参画しました。

インフォコム 株式会社	エイチラボ 株式会社	株式会社 オレンジページ
株式会社 トップス	株式会社 トラベルトピア	株式会社 メトロアドエージェンシー

事業者・区民・区の協働の場、3 つのテーマで取り組んでいます。

学ぶ

- みなとSDGs ●農業体験ツアー
- meccツアー など

世界の動向を学び、一緒に考える場を提供しています。

近年CSRや環境問題だけでなく、SDGsの取組みも拡大してきています。国内外の最新動向を学べるセミナーや見学ツアーを企画し、企業間だけでなく区民との情報交換や交流の場にもなっています。

活動する

- meccコンポスト ●みなとクリーンアップ大作戦
- スポGOMI大会 ●打ち水大作戦 など

小さな取組みも、連携すれば大きな活動に。

一社では取り組みにくいことも、会員事業者の力が集まれば大きな活動へと変わります。事前準備や当日の運営も事務局がバックアップ。担当者の負担なく気軽に参加いただける場を提供しています。

発信する

- 脱炭素チャレンジカップ ●みなと区民まつり
- 企業と環境展 ●mecc EXPO など

発信することで意識を高め、協働の場をイノベーションする。

企業の持つコンテンツや日頃の取組みを、会員事業者だけでなく区民にも発信する場を提供しています。展示や事例発表を通して会員事業者が協働で問題解決に挑むきっかけの場にもなっています。

2022年度イベント

5月18日	総会
5月21日	エコライフ・フェアMINATO 2022
6月14日	2022年度 第1回みなとSDGs (※)
6月18日	100万人のキャンドルナイト (※)
7月10日	みなとクリーンアップ大作戦
7月27日	東京ポートシティ竹芝打ち水大作戦
8月 3日	日比谷通り打ち水大作戦
8月 7日	meccファーム 農業体験ツアー
8月 9日	meccファーム 野菜販売会
9月13日	2022年度 第2回みなとSDGs (※)
11月8日～9日	みなと区民まつり2022
11月11日～13日	企業と環境展2022 (※)
11月	企業と環境展 しいたけチャレンジ
11月15日	2022年度 第3回みなとSDGs
12月 3日	スポGOMI大会inみなと
12月 7日	meccツアー
1月12日～27日	meccEXPO

※印はオンラインで実施

2022

17年目のmeccがスタート

2022年度 総会



エコプラザにて、リアルとオンライン配信で総会を開催しました。武井港区長、野澤港区副区長 (mecc会長) はエコプラザにお越しいただき、それぞれ挨拶をいただきました。すべての事案について会員事業者から賛成をいただき、全事案可決されました。

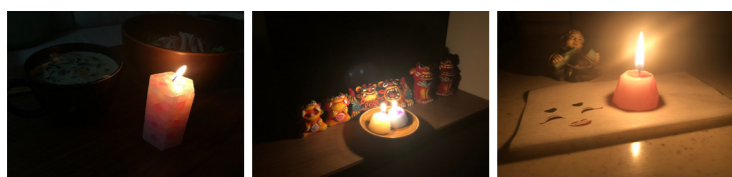
新規会員事業者紹介では、2022年度から参画した事業者を紹介しました。

同日開催の第1回meccセミナーでは、環境省 地球環境局地球温暖化対策課 泉 勇氣課長補佐をお招きして「2050年カーボンニュートラルに向けた経営について」をテーマに講演をいただきました。

- 日時：2022年5月18日 (水) 15時00分～17時00分
- 会場：港区立エコプラザ Zoom、YouTubeにてオンライン配信
- 講師：環境省 地球環境局地球温暖化対策課 課長補佐 泉 勇氣氏
- 参加者：〈来場〉11名 〈配信〉Zoom 26名 / YouTube 35名 合計71名観覧

でんきを消して、スローな夜を。

100万人のキャンドルナイト@増上寺 2022



100万人のキャンドルナイト@増上寺2022に消灯参加団体として参画しました。キャンドルは、社会福祉法人みきの会から購入し、会員事業者に配布して、スローな夜を楽しみました。当日は夜からあいにくの雨天となりましたが、無事全てのプログラムを実施することができました。20年目の節目で、3年ぶりのリアルでの開催となり、1690個のキャンドルを使ったキャンドルロードや スペシャルゲストを招いたキャンドルナイトトークステージなどのコンテンツ実施がありました。また、会員事業者が各ご家庭で参加した様子をSNSで発信しました。

- 日時：2022年6月18日 (土) 15時00分～21時00分
- 会場：増上寺
- 主催：オイシックス・ラ・大地株式会社
- 消灯参加事業者：西松建設株式会社、株式会社ダイフク、一般社団法人竹芝タウンデザイン、DSM株式会社

リサイクルを身近に

エコライフ・フェアMINATO 2022



「エコライフ・フェアMINATO 2022」meccブースにて、エコバザーを行いました。新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催でした。小雨の中で始まりましたが会員事業者から提供された災害用の備蓄水やアルファ米、たくさんのお野菜、企業で不要になった事務用品などmeccらしい商品が、ずらりと並びました。ブースは賑わいをみせており、多くの来場者へリサイクルの大切さを伝えることが出来ました。またスタンプラリークイズでは「地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの中で、いちばん多い物質は？」という三択問題などで、参加者とコミュニケーションを取りながら、環境やmeccについて話す場となりました。ステージでは、子供から大人まで楽しめるイベントも多くあり、meccブース以外でも盛り上がりを見せていました。残念ながら雨も徐々に強くなり、予定より1時間早く終了となりましたが、前回開催時に比べても圧倒的にエコバッグの所有率は高く、来場者の環境に対する意識の高さを感じることができました。



参加事業者の声
DSM株式会社 多賀氏

弊社からは備蓄食料や備蓄水等のバザー品を提供させていただきました。余ったアルファ米は港区の子供食堂に寄付していただいたようで感謝いたします。エコバザーを通じて環境問題に関心を持っていただけること、利用者の方々が喜んで下さること、とても嬉しく思います。

- 日時：2022年5月21日 (土) 10時00分～14時00分 (雨天のため終了)
- 場所：港区立有栖川宮記念公園 エコライフ・フェアMINATO2022 meccブース
- 提供事業者：オイシックス・ラ・大地株式会社、東京ガスネットワーク株式会社東京支店、DSM株式会社、三菱UFJ銀行虎ノ門支店、森ビル株式会社、港区
- 売上げ：29,287円

街の美化から街づくりを考える

みなとクリーンアップ大作戦 2022



みなとクリーンアップ大作戦は、mecc設立時から続くイベントです。毎年多くの会員事業者が参加されています。7月開催ということもあり、新卒の社員研修に取り入れた企業もあります。新型コロナウイルス感染症拡大防止のためマスク着用の上での活動とはなりましたが、屋外ということもあり参加者数が昨年以上に増加しました。

当日は30°Cを超えるなか、熱中症対策も心掛けつつ、45分ほど浜松町付近の道路で多くのゴミを拾いました。会員事業者からは、「初めての参加だったがとても気持ちがよかった。今後も楽しく参加しながら環境について考える時間を増やしていきたい。」や、「他の会員事業者と一緒に活動することでmeccに参画しているということを感じてもらえてよかった。」との声がありました。

活動後はエコプラザでクールダウンし、会員事業者様より提供いただいた賞味期限の近い備蓄用食料を配布しました。拾ったゴミは、可燃15袋、不燃5袋(1袋20L)でした。ごみ拾いSNS「ピリカ」にも投稿し、多くのリアクションをもらいました。



参加事業者の声
株式会社トラベルトピア 土田氏

2022年度に加盟し初めてのイベントみなとクリーンアップ大作戦に参加させて頂きました。7月開催という事で身体は暑かったですが、心は清々となり気持ち良かったです。少し環境活動に貢献ができ最後の「ガリガリ君」も美味でした。

- 日時：2022年7月2日（土）9時30分～10時30分
- 場所：港区浜松町付近の道路
- 参加事業者：株式会社NJS、株式会社大林組、シナネンホールディングス株式会社、株式会社レゾナック、株式会社ダイフク、株式会社トラベルトピア、日比谷総合設備株式会社、株式会社メトロアドエージェンシー、港区 参加者合計 53名
- 主催：みなと環境にやさしい事業者会議

みんなで手軽にヒートアイランド対策

打ち水大作戦 2022



約3年ぶりの打ち水大作戦を開催しました。参加者約60名が道路に並び、合図とともに一斉に打ち水を行う光景は、通行する人たちからも注目されていました。水は、芝浦水再生センターの二次利用水を利用しております。また、終了後参加者全員に「打ち水うちわ」と「打ち水手ぬぐい」を配布しました。

東京ポートシティ竹芝では、久しぶりに港区神明保育園の子ども達が参加し、打ち水を楽しんでいました。

日比谷通り打ち水大作戦ではmeccファームで栽培したジャガイモとトウモロコシを配布しました。参加事業者からは「初めて打ち水へ参加したが社内でも毎年恒例のイベントとして継続していきたい。」や、一般の参加者からは「コロナでこういったイベントができなかったが久しぶりに参加できて嬉しい。子供たちと一緒に活動できる機会は貴重なのでまた参加したい。」という感想を頂きました。

参加事業者の声
東急不動産株式会社 築瀬氏

東京ポートシティ竹芝はコロナ禍真った中の2020年に開業したということもあり、イベントの自粛をしておりました。今回、テナント様、近隣住民といった多くの方々にご参加いただき、担当として大変嬉しく思います。

東京ポートシティ竹芝打ち水大作戦

- 日時：2022年7月27日（水）10時30分開始 10時40分終了
- 会場：東京ポートシティ竹芝オフィス棟
- 主催：みなと環境にやさしい事業者会議、竹芝UBC
- 参加事業者：東急不動産株式会社、トヨタモビリティ東京株式会社、港区、mecc事務局 計29名
- 一般参加者：個人、港区立神明保育園 計26名
- 参加者合計：55名
- 気温観測データ：打ち水前 40.1度→打ち水後 38.6度

日比谷通り打ち水大作戦

- 日時：2022年8月3日（水）14時00分開始 14時10分終了
- 会場：日比谷通り 都営三田線三田駅 A9番出口付近
- 主催：みなと環境にやさしい事業者会議、株式会社長谷工コーポレーション
- 参加事業者：株式会社長谷工コーポレーション、トヨタモビリティ東京株式会社、日比谷総合設備株式会社、港区、mecc事務局 計60名
- 一般参加者：個人 2名
- 参加者合計：62名
- 気温観測データ：打ち水前 38.6度→打ち水後 37.5度

ハマサイト打ち水大作戦（雨天のため中止）

- 日時：2022年8月4日（木）13時50分開始予定
- 会場：浜松町北口広場 ハマサイト
- 主催：みなと環境にやさしい事業者会議

フードロスの解決に向けて循環農業を学ぶ

農業体験ツアー



meccファームで育てた野菜を、
港区立生涯学習センターばるーん付近の桜田公園で
販売を行いました。



野菜購入のお客様にはmeccレポートの配布を行い、広報活動にも力を入れました。

- 日時：2022年8月9日（火）16時00分～19時00分
- 場所：港区立生涯学習センターばるーん 桜田公園
- 参加事業者：株式会社ベジリンク、港区、mecc事務局（合計10名）
- 協力：株式会社ベジリンク
- 販売金額：10,250円（じゃがいも1袋250円 41袋販売）

今年度もmecc農業体験ツアーを開催しました。
meccファームでは化学肥料、農薬を一切使用せず、野菜を作っています。

収穫体験では、スーパーでは見かけることの少ないコリンキーや、ジャガイモ、最後に空心菜とツルムラサキを採りました。ジャガイモ掘りでは素手で土を触り、大人の参加者も童心に帰って夢中で掘りました。今年は短い梅雨と猛暑により白いトウモロコシが不作で収穫できませんでしたが、皆さん嬉しそうにたくさんの野菜を抱えていました。

その後堆肥場の見学も行いました。地元農家から出た落花生の殻などの野菜クズ、企業や食品工場から出た食品残渣を堆肥化し、有機質資源として畑へ戻し循環させるという取り組みが行われています。発酵した堆肥は発酵の中心部分は70度まで上がり、表面は心地いい暖かさがあります。堆肥の上に絨毯を敷いて寝転んだり、農家さん手作りのサウナルームに入って、温浴したりと楽しみました。堆肥場を離れてからも体がじんわりと温まり、「体が内から温まる」という言葉を体感しました。

昼食は畑で採れた無農薬野菜でバーベキューです。収穫時に初めて見たコリンキーを、塩もみしたものや焼いたものをそれぞれ食べ比べてみました。

参加者からは「初めての体験で驚くことばかりだった。子供と一緒に大人も学ぶことが多く参加してよかった。」「畑に来た時と帰る時では参加者の表情がまるで違って、自然の力を感じた。自分の生活の中で何ができるか考えていきたい。」という感想がありました。

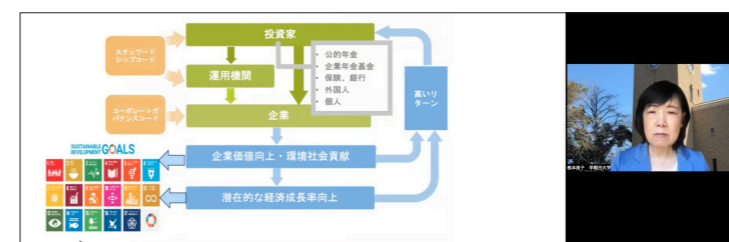
参加事業者の声
明治学院大学 遠藤氏

明治学院大学では、2019年度以降、SDGsに興味関心がある学生を中心にmecc農業体験ツアーに参加させていただいております。Withコロナが新たなフェーズに入る2023年度、これまで以上に多くの学生が参加することを期待しています。

- 日時：2022年8月7日（日）9時30分～16時30分
- 場所：千葉県山武市 たがやす倶楽部 完一農場内 meccファーム
- 参加事業者：港区在住・在勤 大人15名、子供6名
- 協力：株式会社ベジリンク

区民参加型 アイディアソン 新しい港区のために

みなとSDGs



2019年度から始まった、区民と地域と企業を結びイベント「みなとSDGs」、2022年度も全3回開催いたしました。2019年度当初はSDGsという言葉の認知度もまだまだ低く、SDGsに関する情報を提供するものがメインでした。22年度は会員事業者からの声から「フードロス」や「ESG投資」というキーワードがあがり、テーマを決めていきました。多くの方にオンラインにて参加いただき、またSDGsカードゲームも人数を限定しながら久しぶりにリアル開催することができました。

参加事業者の声
株式会社ダイフク 河田氏

カードゲームを通じ、SDGsの世界観を楽しく学べました。カードに書かれたプロジェクトの実行には「時間」や「お金」だけでなく、「世界の状況」のバランスを見ながら進めていくのがポイント。課題を解決することの重要性がより明確になり理解度がアップしました。

第1回 みなとSDGs

- 「ウェルビーイングをかなえる食とまちづくり」
～健康に生きるためにSDGsでできること～
- 日時：2022年6月14日（火）18時00分～20時00分
- 会場：港区立エコプラザよりオンライン配信
- ファシリテーター：SDGsライター 松尾 沙織 氏
- 登壇者
 - ・PRESS 共同編集長/サステナビリティ研究領域フィールドディレクタークリエイティブプロデューサー 近藤 ヒデノリ氏
 - ・特定非営利活動法人TABLE FOR TWO International 事務局長 東京都食品ロス削減パートナーシップ会議委員 土井 暁子氏
 - ・株式会社文化放送 コミュニケーションデザイン部 部長 村田 武之氏

第2回 みなとSDGs

- 「ESGをめぐる課題と取り組み」～SDGsと経営について～
- 日時：2022年9月13日（火）15時30分～17時00分
- 会場：オンライン配信
- 講演者：早稲田大学 大学院経営管理研究科教授 根本 直子氏

第3回 みなとSDGs

- 「SDGsカードゲームで学ぶ、世界と私のつながり」
- 日時 2022年11月15日（火）17時00分～19時00分
- 会場：港区立エコプラザ
- 講師：一般社団法人リバースプロジェクト 幹事/2030SDGsカードゲーム 公認ファシリテーター 永田 悦子氏

- 参加事業者：株式会社NJS、一般社団法人竹芝タウンデザイン、港区、森ビル株式会社、株式会社CLホールディングス、リコージャパン株式会社、オイシックス・ラ・大地株式会社、株式会社トラベルトピア、株式会社メトロアドエージェンシー、東京ガスネットワーク株式会社東京中支店、薬樹株式会社、西松建設株式会社、エイチラボ株式会社、株式会社ダイフク、mecc事務局

区民と共にSDGsを考えるエコバザー

—
みなと区民まつり2022



みなと区民まつりにmeccとしてブース出展をしました。みなと区民まつりは、毎年港区増上寺付近にて開催されるお祭りで、企業をはじめ、港区に関係する団体により様々な出展がされています。開催はコロナの影響で3年ぶりとなりましたが、開始前から多くの区民が来場していました。

meccは、オイシックス・ラ・大地株式会社提供の野菜とあすか製薬株式会社提供のキングファイルを中心にバザー品の販売を行いました。野菜は、安心安全の国産野菜で、来場者だけでなく、他のブースからも出展者が見に来て、飛ぶように売れていきました。また、キングファイルは、商品状態の良さが人気でこちらも多くの方に購入いただき、2日目には在庫を追加するほどの売れ行きでした。

ほかのバザー品についても多くの方に購入いただき、Reuse（リユース）が定着していることがわかりました。

購入いただいた方には、meccレポートの配布を行い、多くの企業が環境活動や、SDGsに取り組んでいることをPRし、mecc活動への理解促進を行いました。

来場者からは、「港区にある企業として、環境活動に取り組んでいることは重要」や「SDGsの取り組みは大変だと思うけど、継続してしっかり活動してほしい」など環境に対する区民の意識の高さと企業への期待が感じられました。

2日間で、48,600円を売り上げました。売上金は積み立てておき、港区立の保育園などへ寄付する予定です。

参加事業者の声 あすか製薬株式会社 上原氏

弊社ではペーパーレス化を進めており、その過程で発生した事務用品を提供させていただきました。今回の活動は社内報にも掲載し、従業員のリサイクル意識の向上、更なるペーパーレス化の推進にも繋げることができました。

- 日時：2022年10月8日（土）11時00分～17時00分
2022年10月9日（日）10時00分～16時00分
- 場所：増上寺エリア 企業・官公庁出展 meccブース
- 提供事業者：オイシックス・ラ・大地株式会社、東京ガスネットワーク株式会社東京中支店、あすか製薬株式会社、森ビル株式会社、港区
- 売上げ：48,600円

脱炭素 循環型社会の実現に貢献

—
meccコンポスト



2022年度から新たにmeccコンポストの活動を開始しました。コンポストはゴミとして処分される生ごみを堆肥として再利用することで、ゴミとして処分された場合に発生する二酸化炭素を削減できる取り組みです。

meccでは株式会社オレンジページよりバック型コンポストのLFCコンポストを購入し、会員事業者と共に堆肥を生成しました。

そして今回は一般社団法人竹芝タウンデザインが行っている竹芝ポップホップ部の活動に参画し、生成した堆肥も活用しながらホップの栽培、ビールの醸造・販売を行いました。

また本活動は一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット他主催の脱炭素チャレンジカップ2023に応募し、ファイナリストに選ばれ、「いのちをつなぐSARAYA賞」を受賞しました。



①ホップ苗の植付け

●2022年4月27日（水）
ウォーターズ竹芝にて苗の植付けを行いました。収穫までポップホップ部の部員で分担して水やりも開始しました。



②コンポスト堆肥の投入

●2022年8月18日（木）
コンポストで生成した堆肥をホップの土に投入しました。ウォーターズ竹芝及び港区庁舎の土壌に混ぜています。



③ホップ収穫

●2022年8月31日（水）、9月24日（土）
ホップ収穫を行いました。ウォーターズ竹芝では短い梅雨と海風により収穫量は少なくなっていました。一方、港区庁舎では塩害もなく沢山収穫することができました。



④みなと区民まつりにてビール販売

●2022年10月9日（日）
できたてのクラフトビール「AO」を、みなと区民まつりにて60本限定で販売しました。実際に収穫したホップを触ってもらったり、クラフトビールを楽しんでいただいたり活動を広げることができました。



⑤脱炭素チャレンジカップ 最終審査会

●2023年2月16日
脱炭素チャレンジカップ2023にてファイナリストに選ばれ、「いのちをつなぐSARAYA賞」を受賞しました。副賞は会員事業者に提供しました。

参加事業者の声 一般社団法人 竹芝タウンデザイン 高橋氏

当施設のみで活動していたことをmeccの活動とクロスさせたことで生まれた取組みとなりました。会員であることで連携できた繋がりが他会員事業者との関係性を、今後は地域に還元していきたいと思っています。

- 時期：2022年4月～2023年2月
- ホップ栽培場所：ウォーターズ竹芝、港区庁舎

企業の取組みを発信する機会

企業と環境展



設立以来10年間、森ビル株式会社のご好意で、六本木ヒルズカフェで開催してきましたが、今年は、東京ポートシティ竹芝内にある、まちづくりプラザにて初開催となりました。コロナ禍も少し落ち着き、ハイブリッド開催となりましたが、多くの来場者がありました。当日は、みなと環境にやさしい事業者会議会長野澤港区副区長からご挨拶をいただきました。「みなと節電アクションへの理解と協力」と「meccを通して会員相互が連携して、環境課題や社会貢献活動に取り組むことで、企業イメージの向上と新たな事業機会の創出を望んでいる」とお話しいただきました。シンポジウムは、「DRAWDOWN（ドローダウン）地球温暖化を逆転させる100の方法」と題して、一般社団法人ワンジェネレーション 共同代表 鮎川 詢裕子氏から講演いただきました。「DRAWDOWN（ドローダウン）」は金融用語ですが、今回は、大気中の温室効果ガスの濃度がピークに達し、前年比で減少し始める時点を指しています。逆転させるために必要な解決策を紐解くとともに、実現させるために必要なモデルケースを職場、地域、個人が取り組むべき解決策を中心に話しいただきました。会員事例紹介として、西松建設株式会社が支援している学校法人玉川学園サンゴ研究部に発表いただきました。4名の部員がクイズを交えてサンゴを紹介しつつ、活動の重要性、地球温暖化による影響などを紹介しました。また、期間中に並行実施されたオンライン企画では、環境や食育を学べる「しいたけチャレンジ」を行い、多くの区民が参加し、SNSでは、子ども達が楽しそうにしいたけ栽培の様子が見られました。

プログラム

- 開会の挨拶
みなと環境にやさしい事業者会議会長 野澤港区副区長
- シンポジウム
「DRAWDOWN(ドローダウン)地球温暖化を逆転させる100の方法」
一般社団法人ワンジェネレーション 共同代表 鮎川 詢裕子氏
- 会員事業者事例紹介
「私たちの手でサンゴを海へ!~玉川学園サンゴ研究部の活動~」
学校法人玉川学園 サンゴ研究部
- 協力事業者:西松建設株式会社

- 日時:2022年11月11日(金) 15:00~17:20
- 場所:東京ポートシティ竹芝3階 まちづくりプラザ

しいたけチャレンジ

- 日時:2022年11月25日(金)から参加者に発送
- 当選:100名

環境問題をわかりやすく伝える

企業と環境展 親子ワークショップ



親子ワークショップは企業と環境展での人気プログラムの1つです。港区の小学校へチラシを配布したり、区報に掲載したりと1か月前から告知し、毎年多くの応募をいただいています。親子で参加でき環境について一緒に学ぶことができる場



として価値を感じていただいているようです。会員事業者からも地域の方に様々なコンテンツをアピールできる機会として好評です。3年ぶりの開催となりましたが、4つの会員事業者のワークショップが、大変好評でした。

「都会でみつけた!身近な鳥の世界をのぞいてみよう」

●提供:森ビル株式会社
毎日見かける鳥の名前や何を食べているのか知っていますか?港区に生息する鳥について学んだり、鳥のペーパークラフトをつくってみたり、どのように鳥たちと共生しているのか考える時間となりました。

提供事業者の声
森ビル株式会社 浅野氏

今回鳥の保護団体のご協力を得て、実物の鳥の個体や羽などを用いた内容で開催しました。実際に触れることで子どもたちの関心も高まり、身近な環境について考える機会場の提供につながったのではないかと思います。

「レジ袋で「組み紐」をつくろう」

●提供:サイオス株式会社
近年話題になっている海洋ゴミやマイクロプラスチック問題について学び、様々なお店のカラフルなレジ袋から「組み紐」を作成しました。毎年人気なコンテンツで、子供はもちろん大人も夢になって手を動かしていました。

提供事業者の声
サイオス株式会社 林氏

不要になったレジ袋を可愛いストラップに生まれ変わらせるエコワークショップです。捨てられたプラ袋がウミガメ等の海洋生物に影響を与えていることを学び、親子で楽しく作った作品を大事に持ち帰っていました。

「しいたけ栽培キットで学ぶSDGs」

●提供:株式会社ベジリンク
しいたけ栽培を通して、環境問題やSDGsを体験できるワークショップです。きのこについて学んだり、農家さんにリモートで質問したり、これからしいたけを栽培するんだ!とわくわくした顔で子供たちは参加していました。

提供事業者の声
株式会社ベジリンク 小原氏

積極的にワークショップに参加頂き、鋭い質問に農家さん共々驚き、私共も有意義な時間を過ごせました!椎茸は栽培も簡単なので、ご自宅でもたくさん収穫して頂けたと思います。椎茸栽培を通し、環境にも興味をもって頂ければ幸いです。

「おかずペーパーで夢のお弁当を作ろう!」

●提供:こどもオレンジページ ●協力:edish
料理写真からできた「おかずペーパー」を使って、飾れるお弁当を作りました。誰とどんな時に食べるお弁当か考えながら、個性あふれるお弁当が沢山出来上がりました。ぜひ親子で夢のお弁当を実現させてほしいですね。

提供事業者の声
株式会社オレンジページ 和田氏

10組×2回の親子に参加いただきました。握り寿司やうどん、から揚げオンリー、兄弟のため、大事なぬいぐるみのため……などなど独創的なお弁当がずらり!考え、話し、手を動かす子どもたちのわくわくした表情が印象的でした。

GOMI拾いはスポーツだ!

— スポGOMI大会 inみなと



スポGOMI大会inみなとは9年目を迎え、会員事業者だけでなく区民や様々な企業等も参加する、meccを代表とするイベントです。今年は一般参加も増え、meccの会員事業者も複数チームで参加するなど昨年を超える多くの参加を頂きました。今回も感染症拡大防止策として、軍手着用と、ゴミは全てトングで拾うことを義務づけ安全を考慮し実施しました。約1時間のゴミ拾いでしたが今年も多くのゴミを集めることが出来ました。結果は第1位8.35kg、第2位7.74kg、第3位7.07kgと接戦でした。1位には表彰状とトロフィー、1位～3位には景品が贈られました。その他、ブービー賞として26位のチームには東京ガスネットワーク株式会社東京中支店提供のゴミ袋を、小学生以下の子どもの参加者には「たくさん歩いたで賞」としてお菓子の詰め合わせを贈りました。終了後、参加賞として全チームにごみ拾いSNS「ピリカ」のボールペンと打ち水手ぬぐいを配布しました。分別されたゴミは、可燃27.84kg、不燃29.75kg、ビン缶37.17kg、タバコの吸い殻3.46kg、ペットボトル321本、合計98.22kg（総重量にペットボトルは含まず）でした。「社内ではゴミ拾いの活動ができていないので、こういったイベントが開催されるのはありがたい」、「普段はきれいだと思っていた街も植込みや裏路地に多くのゴミがあり驚いた」、「数年ぶりに参加したが、参加者数も以前より増えており世の中の環境問題に対する意識が高まっているのを感じた」などの感想を頂きました。



参加事業者の声

シナネンホールディングス株式会社 木村氏

当社は、2021年度に引き続き2回目の参加となりました。参加人数も増え、有志社員およびその家族、友人で構成された3チームが出場。参加したメンバーからは「楽しかった」「次回も参加したい」といった声が聞かれました。2023年度の開催も楽しみにしています。

- 日時：2022年12月3日（土）10時00分～12時00分
- 会場：JR新橋駅周辺
- 主催：みなと環境にやさしい事業者会議
- 共催：港区
- 参加者：合計 27チーム 120名
- 会員事業者：株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント、三菱UFJ銀行虎ノ門支店、シナネンホールディングス株式会社、トヨタモビリティ東京株式会社、株式会社ダイフク、mecc事務局（計14チーム 63名）
- 一般参加：東京電力パワーグリッド株式会社銀座支店、グラクソスミスクライン株式会社、港区立高陵中学校、株式会社東北新社、株式会社サニックス、一八会、親子チーム（計13チーム 57名）

オフィスの細やかな工夫や最先端ZEB事業所から学ぶ

— meccツアー



先進的なオフィスや環境関連施設などの視察を行うmeccツアーですが、2022年度はリコージャパン株式会社のSDGsの取り組みやZEB事業所についてご紹介いただきました。

20年以上にわたり環境保全と利益創出の同時実現を目指し、全社員参加のセルフチェック等により一人一人の意識を変革していくことに力を入れているリコージャパン。このような取り組みを推進していくためにはトップの強いコミットメントが重要であり、リコージャパンではトップから社員に向けたメッセージの発信を行っています。会場の田町事業所（ViCreAたまち）も実際に見学させていただきましたがオフィスの至る所に工夫がありました。フリーアドレスで広々としたオフィスですが、殺風景にならないように壁に緑を感じるラベルやポスターを貼っていたり、雑談や飲食ができるコミュニティスペースがあったり。災害用の保存水も目に付く場所に置いてあり、意識付けにも役立てていました。

またViCreA和歌山とオンラインで繋ぎ見学しました。ViCreA和歌山はゼロエネルギーを実現したZEB事業所（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル※）です。和歌山事業所では太陽光発電により、空調や照明などの消費電力を賄っています。太陽光発電は日中により多くの発電するため、朝や夕方以降は発電量が下がります。そこで蓄電池やEV車の蓄電池を利用し、1日を通して消費電力をカバーできるようになっていました。他にも自動で照明を調整し、日光もオフィスに取り入れながら働きやすい環境づくりがされていました。

※快適な室内環境を実現しながら建物で消費する年間の一次エネルギーの収支ゼロを目指した建物



参加事業者の声

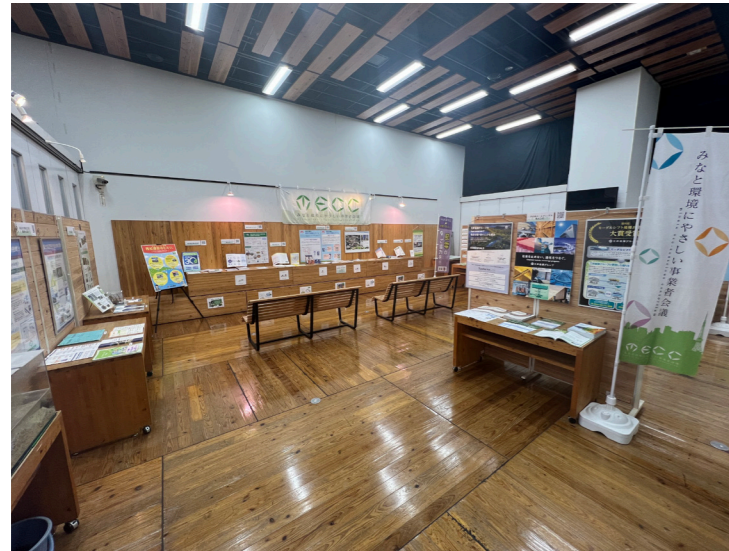
インフォコム株式会社 瀬川氏

今回参加して印象に残ったのは、営業の方がSDGsに取り組むこととお客様と共通の話題ができたというお話を聞いたことです。お客様と商取引の関係を越えた、今後のSDGsの取り組みを通じた協業、共創につながる可能性を感じました。

- 日時：2022年12月7日（水）9時50分～12時00分
- 場所：リコージャパン株式会社 田町営業所
- 協力：リコージャパン株式会社
- 参加事業者：インフォコム株式会社、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント、シナネンホールディングス株式会社、株式会社メトロアドエージェンシー、東京ガスネットワーク株式会社東京中支店、港区、一般社団法人ワンジェネレーション、mecc事務局 計14名

会員事業者の取組みを一堂に展示

mecc EXPO



1月12日～1月27日の約2週間、港区立エコプラザにて会員事業者の取組みを区民に発信するイベント「mecc EXPO」を開催しました。環境保全の観点からも印刷物を作らない事業者は年々増え、統合報告書等の冊子類の展示はへりましたが、環境に配慮した商品のサンプル展示やコンポストの活動紹介等の展示は増えています。

また今年度はmeccを知ってもらうという意味でも、全事業者の事業者名と公式HPに繋がるQRコードも展示しました。パッと見ても多くの事業者が参画していることが分かり、設営にきていた事業者からも「改めて、様々な業界の事業者が沢山集まっているのがよく分かり、他業界とも繋がりが広がるのは嬉しい」とコメントいただきました。コロナ禍以前よりもエコプラザの来場者数は減少しているかと思いますが、並べている冊子が無くなり追加印刷いただいたり、参加型の展示をしていたオイシックス・ラ・大地株式会社では日々来場者が作成した展示物が増えていたりと賑わいを感じました。例年より開催期間は短くなりましたが、来年度は複数会場での開催も目指し、より多くの方に見ていただけるよう進めていきます。



参加事業者の声

オイシックス・ラ・大地株式会社 牛島氏

毎年、mecc EXPOに参加するのを楽しみにしています。今年はお子さんもおとも楽しめるよう、折り紙で作った果物や野菜を木の枝や畑に貼っていただく「mecc農園」を企画。たくさんの方にご参加いただき、最終日には野菜も果物も豊作となりました。

- 日時：2023年1月12日（木）～1月27日（金）
- 会場：港区立エコプラザ 1階 展示スペース
- 主催：みなと環境にやさしい事業者会議
- 展示協力：アクセンチュア株式会社、NECキャピタルソリューション株式会社、オイシックス・ラ・大地株式会社、株式会社オレンジページ、シナネンホールディングス株式会社、東急不動産株式会社、東京ガスネットワーク株式会社東京中支店、西松建設株式会社、株式会社ベジリンク、三井倉庫ホールディングス株式会社、港区、明治学院大学、森永乳業株式会社、森ビル株式会社、リコージャパン株式会社 合計15事業者
- 来場者数：推定2700名（1月の来場者数4701名より日割り計算）

meccは、地域、区民、企業が一体となり
発信・参加・学習することで
新しいアイデアがカタチになる
活気ある場を提供しています。
mecc会員になって、一緒に活動しませんか？

meccに参加するには？

みなと環境にやさしい事業者会議は企業の環境活動、CSR活動、省エネ活動などの問題点に地域、区民、企業が同じ立場にたち業種も立場も異なるさまざまな事業者たちが同じ目線で出会える場になりたいと思っています。

環境に対する、互いの意識を高めあえる場に、そして、アイデアが次々にカタチになっていく活気のある場を提供しています。

また、会員事業者の皆様における地球環境問題の解決に向けた積極的な取組みを支援しています。

「みなと環境にやさしい事業者会議」のめざすところ

- 地域をコアに地球規模でひろがる環境情報の受発信基地
- CO₂削減に向けた全国に先駆ける「みなとモデル」の創出
- CSR活動に還元できるコンソーシアムとしての取組み
- 業種を超えたユニークな協働のネットワークの社会実験

- 入会資格 「みなと」にかかわりがあり、地域社会と地球環境への貢献に関心のある事業者。事業規模の大小、法人の形態（株式会社、各種機関、NPO、個人事業者等）を問いません。
- 年会費 5万円（1口）◎会費等は、事業運営費等に充てられます。
- 主な取組み
 - ・総会の開催（年1回） ・「企業と環境展」の開催（年1回）
 - ・分科会の開催（事業の内容に応じて） ・各イベントの実施（打ち水、クリーンアップなど）
 - ・meccセミナーの開催 ・meccツアー（視察・見学ツアー）の実施
 - ・みなとSDGs ・スボGOMI大会

2022年度 mecc会員一覧

●meccカーボンオフセット

meccでは、会員事業者向けのサービスとして、カーボンオフセット用の二酸化炭素の排出権を2008年に100トン分購入しました。すでにさまざまな事業活動（報告書印刷、イベント運営等）のオフセットにご活用いただいています。2021年度末までの償却分は57トンとなっており、2021年度以降の償却分として43トンが持ち越されています。

過去の主な使用実績

- ◎ イベント運営／エコライフ・フェアMINATO
- ◎ 印刷物製作／mecc活動報告書（本誌）



mecc会員事業者であれば、mecc保有のカーボンオフセットをご使用いただけます。ぜひご相談・ご活用ください。

みなと環境にやさしい事業者会議 2022年度 活動報告書

発行 みなと環境にやさしい事業者会議
〒105-0013 東京都港区浜松町1-13-1 エコプラザ内（3F）
TEL 03-6806-9280 FAX 03-6806-9282
Mail info@mecc-minato.net

発行日 2023年5月1日

製作 みなと環境にやさしい事業者会議 事務局



この印刷物は、環境に配慮したグリーンプリンティング認定工場で作りました。森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立つ「森の町内会・間伐に寄与する紙」、VOC発生量を低減できる「植物油インキ」、イソプロピルアルコール（VOCの一種）等を含む有害廃液を出さない「水なし印刷」を使用しています。また、CTP（Computer to Plate）方式の採用により製版用現象液やフィルムを全廃しています。

- アクセンチュア株式会社
- あすか製薬株式会社
- 株式会社安藤・間
- インフォコム株式会社
- エイチラボ株式会社
- NECキャピタルソリューション株式会社
- 株式会社NJS
- オイシックス・ラ・大地株式会社
- 株式会社大林組
- 株式会社オレンジページ
- 笠井設計株式会社
- 鹿島建設株式会社
- カワセ印刷株式会社
- サイオス株式会社
- サムライ・キャピタル株式会社
- サントリーホールディングス株式会社
- 株式会社CLホールディングス
- シナネンホールディングス株式会社
- 株式会社シュガーアンドスパイス
- 株式会社新正堂
- 世紀東急工業株式会社
- 一般財団法人 世界聖典普及協会
- 株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント
- 株式会社ダイフク
- 一般社団法人竹芝タウンデザイン
- 都築電気株式会社
- DSM株式会社
- 株式会社TBSホールディングス
- 東急不動産株式会社
- 東京ガスネットワーク株式会社 東京中支店
- 株式会社東京フォレストパワー
- 株式会社トップス
- トヨタモビリティ東京株式会社
- 株式会社トラベルトピア
- 西松建設株式会社
- 一般社団法人 日本自動車連盟（JAF）
- 日本たばこ産業株式会社
- 日本道路株式会社
- 株式会社博報堂
- 株式会社長谷工コーポレーション
- PHC株式会社
- 日比谷総合設備株式会社
- 株式会社プロネクサス
- 株式会社文化工房
- 株式会社文化放送
- 株式会社文星閣
- 株式会社ベジリンク
- 本田技研工業株式会社
- 三井倉庫ホールディングス株式会社
- 三菱UFJ銀行 虎ノ門支店
- 港区
- 明治学院大学
- 株式会社メトロアドエージェンシー
- 森永乳業株式会社
- 森ビル株式会社
- 薬樹株式会社
- ヤマハ株式会社
- リコージャパン株式会社
- 株式会社LIS
- 株式会社レゾナック

60事業者（50音順）